



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

王子神谷雲母保育園



テーマ【 自然 】

設定した理由・背景

保育園は自然豊かな北区にあり、子どもたちが日々散歩で訪れる園周辺には、川や滝などの水辺や草花溢れる公園があり、子どもたちも自然に興味を持って生活している姿が見られる。

また、現在、実験遊びも積極的に取り入れており、自分たちで新しい発見が出来る活動に夢中になって取り組んでいる。今回は自分たちで普段生活している地域と違う環境（山、キャンプ村）では、違いがあるのか身近な自然をテーマに、子どもたちの探求心をさらに育てていきたいと考えた。

用意した環境設定

園周辺の公園、キャンプ村、図鑑、画用紙、タブレット

活動のあゆみ

6月 アジサイにはなぜ様々な色があるのか図鑑等で調べた。土の成分の違いにより色が変わることを知り、タブレットで画像を見ながらクイズを楽しんだ。

7月 園周辺の公園で草花採取を行い、押し花にした。身近な自然に目を向けることで、キャンプ村（山）にある、植物、自然との違いに興味をもてるようにした。

8月 実際にキャンプ村へ行き、植物の見比べや気に入ったはっぱをお土産に持って帰ってきた。

後日、キャンプ村から持ち帰ったお土産を使って製作を行った。

※探究活動の実績※

戸外保育で見つけたアジサイの色の違いについて「葉っぱの色はどうして違うと思う？」という問いから始めた。

身近にある自然に興味をもっていたため、更に興味を広げようと「お泊り保育で行くキャンプ村には何があると思う？」という問いかけると、「川」「虫」「カニ」「葉っぱ」と様々な反応があり、「みんながいつも行く公園でもよくお花や葉っぱを見かけるよね。葉っぱってキャンプ村でもおんなじかな」の声に「おんなじだよ」「ちがうよ色んな色や形があるんだよ」と意見が飛び交った。「そしたらまずは散歩に行ってお近くの公園にある葉っぱはどんな色や形をしているか見てみよう」と声を掛けるととても意欲的な様子だった。採ってきた葉っぱは、そのまま置いておくとぐしゃぐしゃになってしまうが、押し花にすると長く保管できることを知った。

お泊り保育当日は、子どもたち同士で「このはっぱ〇〇のおうちのそばでもあったよ」「公園の葉っぱと色が違う」等自分の経験も踏まえながら興味深そうに草花に触れる様子があった。他園の子どもたちとのグループになっていたため、普段と違うお友だちとも身近な自然について話が弾んでいた。川遊びでは川の水の冷たさに驚いていた様子もあった。

葉っぱ等はお泊り保育のお土産として園に持ち帰り、製作を行った。

後日、参加してきた5歳児がお泊り保育での思い出を下のクラスの4歳児に話して伝えたことで、イメージを膨らませることができ、来年的お泊り保育への意欲の高まりに繋がられた。



公園で草花を集めている様子



キャンプ村で探索している様子



制作の様子

まとめ

普段は園周辺の自然に触れることが多い分、地域（環境）の違いによっての変化を実感することは少ないが、普段と触れることの少ない山にある自然を感じることができる機会は大変貴重だった。現地では、事前に下見を行い、草花や川の生き物に触れやすい環境設定を行ったことで、限られた時間でも十分戸外探索を行うことができた。今後もまずは身近な身の回りのことに目を向けつつ、子どもたちの探究活動を深めていきたい。



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

王子神谷雲母保育園



テーマ【 光 】

設定した理由・背景

各部屋に大きな窓がある園の特徴を活かし、「光」をテーマとして設定する。光は子供たちが日常生活で触れる身近なものであり、日常の保育の中でも光や影に興味を持っている姿が見られることから、光によって生じる様々な現象や特性について、子供たちの興味関心を更々に深めるため。

用意した環境設定

プロジェクター、スクリーン、ノートPC、カラーセロハン、ジュエル積み木、ライト等

活動のあゆみ

12月 ジュエル積み木やライト遊びを通して、太陽の光やライトで光で影ができる事や光が大きくなったり小さくなったりすることに気づいた。

1月 カラーセロファンで望遠鏡づくりをした。太陽の光や電気にかざした時の色が透ける様子に喜び、自分で作った分、照らすと光る変化に関心が高まった。

2月 活動の振り返りとして、子どもたちとも電気がどのように作られるのか太陽の役割等についてイラストを用いて振り返ると共に、活動の様子を保護者にも玄関掲示で共有した。

※探究活動の実績※

ジュエル積み木遊びを通して「どうしたら色の影が床に移るのか？」を子どもたちに問いかけるところから始めた。遊んでいるうちに、室内に太陽の光が差し込み床に色が映ったことをきっかけに”どうしてここだと映るのか？”を考え「明るいから」「お日様があるから」と子どもたちなりに考え、応える姿があった。別日には、保育室の窓から見える公園には日の光が差しているが、保育室には光がないことに気づいた。11:30を過ぎた頃、保育室内にも直接日の光が差してきたことを受け、様々なことを試しながら壁にも光が映ることを子どもたち自ら気づき発見を楽しんだ。

また別日には、ホールを暗くしてライト遊びを行った。ライトを天井や床、壁に映して遊ぶ中、保育者が「どうしたら光が大きくなるのかな？小さくなるのかな？」と問いかけると、試行錯誤しながら、遠ざけると光が大きくなることを子どもたちなりに一生懸命説明する姿があった。プロジェクターで自分の影が壁に移し、離れた地近づいたりすることで自分の影が大きくなったり小さくなったりする変化を楽しんだ。

まとめの話として、電気はどうやって作られているのか、太陽の役割等についても共有した。



遊びを通して光を感じる



ライトの光の大小を発見



作った望遠鏡で覗いてみよう！

まとめ

子どもたちが興味を持ちやすくするため、日の光が差し込む時間帯を選んだり、あえて部屋を暗い部屋で活動を行うなど工夫したことで、目に見えた変化がわかりやすく、様々な活動を行うことができた。活動を通して、「もっとやりたい」と集中して取り組む様子もあり、光の美しさや温かさを感じたり、電気の大切さを知ったりすることで、更なる子どもたちの探求に繋がった。今後も年齢に応じた探求を深めていきたい。



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

王子神谷雲母保育園



テーマ【 異文化交流 】

設定した理由・背景

自園には、外国籍の園児や海外に住んでいた園児が在籍しており、海外に対して関心がある子が多い。また、園で提供している給食では、様々な味に触れる機会を大切にしており、海外発祥のメニューも普段からよく食べているため、子どもたちの身近なものを通して文化の違いを知り、相手を理解する事に繋がられたらと考え設定した。

用意した環境設定

プロジェクター、スクリーン、ノートPC
画用紙、模造紙、筆記用具、カメラ、外国人講師（オンライン）、スピーカー、図鑑、世界地図 等。

活動のあゆみ

9月 世界の食べ物（ソーセージ、クロワッサン、フライ、ピザ、ケバブ等）を知り、どんな国か調べてみる。

11月 世界の珍しい乗り物（ケーブルカー、熱気球、犬ぞり、二階建てバス、ラクダタクシー等）を知り、日本にはどんな乗り物があるか発表した。

2月 世界の市場（青空市場、魚市場、マラケシュ市場、花市場、水上マーケット、サリサリストア等）を知り、日本の市場（お店）との違いについて発表した。

学んでいく中で出てきた国がどこにあるのかを調べたり、挨拶や国旗についても教えてもらい、様々な知識を得た中で興味が深まり、5歳児クラスは生活発表会を通じて世界の挨拶や「ありがとう」の言葉を使った劇を保護者の方に見てもらった。

また、活動のまとめを玄関掲示し保護者の方に共有した。

✧探究活動の実績✧

日本以外の世界の様々なものに対して関心を広げるべく、定期的に英語に触れる機会を設けてきた。

その中で「世界にはどんな食べ物があると思う？」「世界にはどんな乗り物があると思う？」「世界にはどんなお店があると思う？」等の問いから、各国を代表する様々なものについて学び、またその国がどこにあるのか世界地図で探すなどして理解を深めた。各国の挨拶を教えたもらったり、街の様子を映像で見ることでイメージが膨らみ楽しんで異文化に触れることができた。言葉で伝えるための英語を外国人講師とのレッスンの中で、英語自体にも興味を持ち自信を持って発信する様子が見られた。

保育室では、世界の〇〇に興味を持ちやすくするため、保育者が世界地図や国旗等の本も用意し自然に目に留まるような環境設定をしたことで、「この挨拶をするのは、この国だ！」と気づいて共有する子どもの姿もあった。日常の給食で提供しているメニューの中にも、世界の食べ物があることを発見したり、自分が知っていることについて友だちに伝えたりする様子があった。国旗には、模様が似ているものがあり、各国の模様を見比べて確認する様子が見られた。

子どもたちが世界に興味を持っている様子を受けて、生活発表会でもやってみよう働きかけ、5歳児クラスでは保護者の方の前で発表する事になった。



講師の先生とのやり取りの様子



世界地図を確認中



世界の〇〇について学んだ資料

まとめ

1年を通じて英語や異文化に触れながら、世界の乗り物や食べ物等について学びを深めた。最初は、言葉がわからず戸惑う様子が見られたが、保育者と一緒にどんな事を伝えたいか考えたり、一緒に答えたりしながら、英語でのやり取りを楽しむようになった。身近な歌やダンス等から興味が広がり、5歳児クラスでは、英語講師に教えてもらった世界の挨拶の歌を生活発表会に取り入れ、自信をもって発表することができた。日本の事はもちろん、世界の文化に触れる機会は今後も作っていきたい。